

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
KID ACADEMY 芦屋校		2026 年 1月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	お子さまの発達に合わせて、支援時間を過ごしやすくように環境を整えています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	人員配置に関しては、法令を遵守しています。また、その日の利用状況やお子さまの様子を考え、安心安全に過ごせるように環境設定を行っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・靴を脱ぐところ、踏み台で立つ場所に足型を貼るなど、分かりやすく過ごしていただけるよう工夫しております。 ・段差もなくバリアフリーに配慮した環境となっております。	お子さまの発達・特性に応じ、机の配置の仕方など環境の設定にさらに配慮してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	毎日の清掃、消毒、整理整頓を行い、お子さまが安心して過ごすことができるように配慮しています。また、活動内容によって机の配置や部屋の使い方の工夫を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	お子さまが落ち着かない様子がみられるなどその日の様子に寄って、パーテーションで仕切り個別スペースを作るなど、落ち着ける空間を設けて対応しています。	音や光に敏感なお子さまには、パーテーションやカーテンをつけるなど検討をしてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日の朝礼で、本日の利用状況を確認したり、起こった出来事に対する改善策や今後の対応や今後の取り組みなどについても情報共有を常に意識して話し合う時間を設けています。また、定期的に対象のお子様のモニタリングを行い、振り返り、計画作成を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	事業所評価により頂いたご意見を公表するとともにより良い支援が出来るように業務の改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日の朝礼で、前日の振り返りやその日の利用状況の確認やお子様の支援内容を共有し、支援後はその日の様子などを常に共有しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	現時点では、利用者様・社内の 2者評価となっています。	第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後、必要に応じて検討をしていきたいと考えています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	入社時には必要な研修を実施しています。その後は、定期的に研修を設けており、常に子ども達のためにより良い支援・質の高い支援が提供できるように職員の支援力を高めるための学ぶ機会は多いと感じています。また、事例検討会も毎月行っています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	HPやパンフレットなどに会社の理念や脳科学に基づいた支援プログラムを掲載しています。お子様一人一人の特性や課題を把握してオーダーメイドのプログラムを作成しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	モニタリング、アセスメントを取り、保護者との面談でご家庭の様子や学校での様子を聞き取りをさせて頂き、保護者のニーズもふまえながら、お子さまの状態をしっかり分析しながらその時々に必要な支援が出来るように計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	前回の支援でのお子さまの様子や課題など優先的に取り組むことなどお子様中心で話し合い、共通認識がもてるようにモニタリングを開催しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	保護者との面談をもとに、個別支援計画原案作成しその後職員間でサービス支援会議を行い課題を明確化し具体的な目標など情報共有の上で個別支援計画に沿った支援を行っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	統一したフォーマットでアセスメントの入力や日々の活動内容を記入しています。モニタリングや個別支援計画作成時、支援会議などで活用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」を踏まえて計画を立てています。また、五領域を考えながら学習での個別対応や集団活動を組み合わせるなどお子様一人一人に合わせた支援内容を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	他校とも活動プログラムの共有を行いながら、プログラムに活かしたり、日々職員間で現状の課題を共有し意見交換を行いながら活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	毎日の支援内容を記録し共有しながら、その日ごとお子さまの様子に合わせた支援を提供しております。また同じプログラムでも難易度を変えるなど工夫を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	お子さまの課題を把握しながら、個別や集団での活動を組み合わせ実施しています。専門的支援実施計画ではお子様一人一人に合わせた課題や目標の計画を作成しています。また、その時々のお子さまの様子を把握しながら臨機応変に対応できるように日々職員間で話し合っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	毎日の朝礼で当日の利用状況や業務内容、支援の内容を確認しています。また、想定される出来事がある場合の対応も考えて支援にあたっています。職員間で声をかけ合うなど日々、チームワークの大切さを意識しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	日々、振り返りも行いながら次の支援に繋げられるように話し合いを行っています。また、保護者からの連絡事項などは業務日報を活用し共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	支援の内容や課題など記録を残し職員間で共有しています。また、支援に対して常に振り返り、次の支援に繋げていけるように努めています。また、個別支援計画更新時期にはモニタリングなどで振り返る時に参考にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に1回以上のモニタリングを実施、個別支援計画の見直しを行っています。必要に応じてお子様の様子をみながら適宜モニタリングを行いながら適切な支援ができるように努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者以外に専門職の先生や直接支援にあたっている職員と参加するなど複数名で参加できるように考えています。状況的に難しい場合は、サービス担当者会議や関係機関との会議の前に、職員間でミーティングを行いこどもの現状の把握や課題を擦り合わせています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	保護者のご希望や必要に応じて園訪問や相談支援所との連携は行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	他事業所を併用されているご利用者様もおられます。その際、保護者の同意のうえで、園や相談支援所との情報共有などの連携を行い、相互理解に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	保護者のご希望により、小学校、特別支援学校支援へ支援内容の情報共有を行います。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	31	(31は、事業所のみ回答)			現在行っておりません。	今後、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けていきたいと考えています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	地域の地域のお子さまと活動する機会はありません。	今後、ご利用者様のご意向を踏まえ、地域支援・地域連携を行っていく中で他児との活動する機会を設けることも考慮させていただきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	利用当日の様子などを送迎時などに保護者の方にお伝えするようにしています。また、気になるなどがあれば電話するなどで共通理解がもてるように努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	ペアレント・トレーニングは行っていないですが、会社として外部の講師による保護者向けの講演会や親子で参加できる活動など行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時には説明をさせて頂いております。また、その都度必要があればお手紙を配布したり、電話で説明を行うようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	個別支援計画更新時には保護者との面談を行い、保護者の要望を聞きながらお子さまにとって必要な支援の話ができる場を設けています。それ以外でも、保護者からの要望や困り事など相談があった場合には電話や面談などを行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	個別支援計画を示しながら内容を説明し、確認していただき同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	随時ご相談をお受けし面談・助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者茶話会を開催し保護者同士が交流する機会を設けております。きょうだい同士での交流の機会は今現在設けておりません。	きょうだい同士での交流の機会については、保護者様のご意向を踏まえ、機会を設けることも考慮させていただきたいと思います。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談をお受けしたその時に回答したり、校に持ち帰り支援者全員で共有・会議して回答するなどできる限り迅速かつ丁寧に対応させていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	マンスリーレポートを作成・配布し活動内容の情報を発信しております。また、SNSやアプリを利用して情報をお伝えすることもあります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報には鍵のついたキャビネットで管理しております。また、個人名の入った書類を配布する場合にもお名前前のチェックなど留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	先の見通しがもてるように事前に伝えたり、視覚的に分かりやすくするなどお子様に合わせた関わりを行っています。また、保護者の方には送迎時や電話、公式LINEなども活用しながら円滑に情報伝達ができるように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルを用意し、職員間での共有、発生を想定した訓練を実施しています。また、マンスリーレポートで訓練実施を保護者の方に周知しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	業務継続計画を策定しています。また、避難訓練を実施し定期的に避難バックの備品など確認も行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	2	契約時に、服薬やアレルギー、てんかん発作などがあるか確認しています。また、面談などでお子さまの状況を確認しています。	服薬、予防接種、発作などお子さまの状況が変わった場合には共有をお願いしてまいります。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	現在、事業所での飲食はございません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	年度初めに計画を作成し、毎月計画に基づいた訓練や研修を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	契約時に、緊急時の連絡先やお子さまを引き渡す際の保護者引き渡しシートに必要な情報の記入をお願いしています。また、安全計画に基づく取組内容は教室の入口に掲示しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	発生した場合は、すぐに職員間で共有ミーティングを行い、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	入社時と毎年研修を行っています。また虐待防止委員会を開催し適切な対応ができるように話し合っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	やむを得ず身体拘束を行う場合の組織的なルールを明確にし、身体拘束を行う必要がある場合には、お子さまや保護者への十分な説明や個別支援計画書に記載いたします。	